

11. 埼玉県



1 1. 埼玉県

A. 医療提供体制の現状

埼玉県の特徴は、(1) 全体的な極度の医療資源の不足、(2) 多中心的な医療提供体制、(3) 医療需要増に対応すべき最重要地域の存在である。

(1) 全体的な医療資源の不足

県全体の病床数、一般病床数、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数の偏差値は全て 45 以下である。日本で最も医療提供が不足した地域である。

(2) 多中心的な医療提供体制

秩父を除き、全県的に全身麻酔手術が行われ、県内各地に拠点病院が存在するが、人口 720 万人を支えるには、極度の医療機関不足である。多くの人が、特別区や他の医療圏の医療機関を受診している。

(3) 医療需要増に対応すべき地域の存在

秩父を除き、2010 年→35 年にかけて全ての医療圏で 75 歳以上人口が 70%以上増え、南西部、東部、さいたま、県央、川越比企、西部では 100%を超える。これらの地域の全てが、医療不足地域であり、医療や介護の需要増にむけて早急に対応すべきである。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(南部、西南部、東部、さいたま、県央)

この 5つの医療圏を合わせた面積 836 平方キロメートル（佐渡島とほぼ同じ広さ）の地域に、約 432 万人が住んでおり、人口密度は 5,000 人/km²を超える。この地域の人口当たりの病床数の偏差値が 38~42、一般病床数 37~41、病院勤務医 36~42、全身麻酔数が 40~47、総看護師数が 35~40 と、共通して医療資源が少ない。これらの地域がこれまでこのような少ない医療資源でやってこられたのは、(1)住民が比較的若く、有病率が低かった、(2)多くの人々が東京都心で勤務し、病気になった時に東京の医療機関を受診し、地元の医療機関の利用率が他の地域より低かったことによる。

ところが今後、この地域の住民の年齢が上がり、(1)住民の有病率も上がる、(2)多くの人々が定年を迎え、これまで東京の医療機関を受診していた人が地元の医療機関を受診するようになり、地元の医療機関の利用率が上がる。更に 2010→35 年にかけて 75 歳以上人口が 99%~141%と後期高齢者を中心とする高齢者が激増する時代を迎え、介護の需要が 81~108%増、医療需要も 18~24%増と、医療も介護も需要が急速に高まる。

この地域は、まず高齢者向けの医療や介護にかかわる医師と看護師と介護職員などの養成、他の地域からのリクルートなど、あらゆる手を尽くしての人材の確保が不可欠である。医療

病床の増床、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強も必要である。

(川越比企、西部)

川越比企には埼玉医大が、西部（所沢）には防衛医大があり、埼玉県の中では病院勤務医の多い地域であり、現在比較的医療の充実した地域といえる。ただしこの地域も、2010→35年にかけて75歳以上人口が116%と139%増と後期高齢者が激増し、介護の需要が92%と111%増、医療需要も14%と22%増と、現在の医療や介護の資源ではとても対応しきれないくらい医療も介護も需要が急速に高まる。医療・福祉の人材の確保、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強などが必要である。

(利根、北部)

この地域も、南部、西南部、東部、さいたま、県央と同程度に、人口当たりの医療資源の少ない地域である。ただし、人口密度が1,000人/km²程度で、上記の5つの医療圏の人口密度の1/5程度であること、2010年→35年の後期高齢者の増加率が96%、72%と、後期高齢者の増加率が多少低いことが異なる。この地域も、現在の医療や介護の資源ではとても対応しきれないくらい医療も介護も需要が急速に高まるので、医療・福祉の人材の確保、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内のネットワークの強化などが必要である。

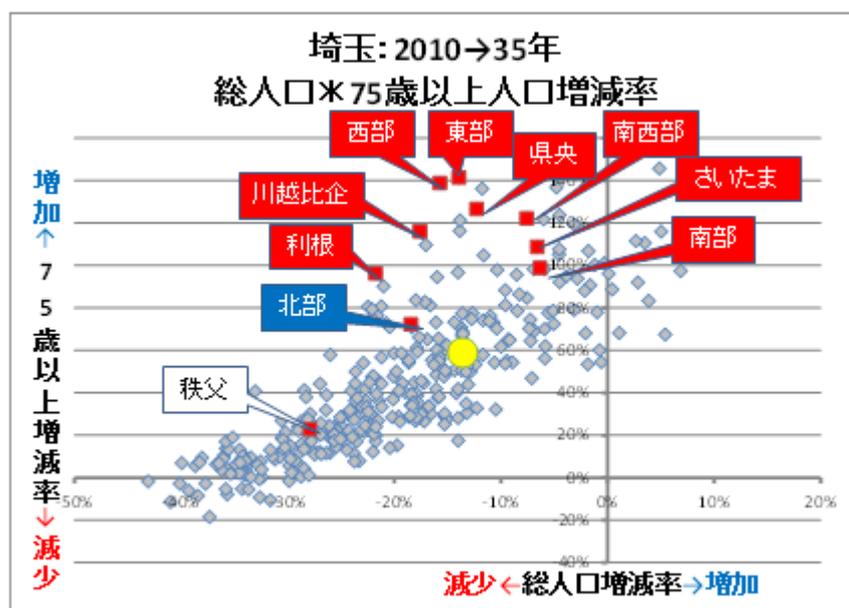
(秩父)

秩父は、人口密度121人/km²であり、山間部に広がる埼玉県唯一の過疎地域である。病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数も極めて少なく、救急医療や高度医療は、他の医療圏への依存度が高い。総医療需要が9%減であり、特に0-64歳の医療需要の減少が大きいため、集約と基幹病院への移送能力の強化を基本に地域の医療機能を維持することが求められる。

表 11-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
埼玉県	7,194,556	5位	3,798	39位	1,894.2		20%	-13%	112%
南部	756,087	11%	85	2%	8,870.1	大都市型	19%	-6%	99%
南西部	689,961	10%	111	3%	6,218.7	大都市型	19%	-8%	122%
東部	1,118,182	16%	250	7%	4,476.5	大都市型	20%	-14%	141%
さいたま	1,222,434	17%	217	6%	5,620.6	大都市型	19%	-7%	109%
県央	529,658	7%	173	5%	3,062.7	大都市型	21%	-12%	127%
川越比企	799,470	11%	627	16%	1,275.7	大都市型	21%	-18%	116%
西部	788,545	11%	406	11%	1,940.2	大都市型	21%	-16%	139%
利根	659,459	9%	474	12%	1,391.7	大都市型	22%	-22%	96%
北部	522,534	7%	562	15%	929.3	地方都市型	22%	-18%	72%
秩父	108,226	2%	893	23%	121.3	過疎型	28%	-28%	23%

図 11-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012
 (A.「医療提供体制の現状」、表11-1、表11-2、表11-5、図11-4)
 厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3
 (図11-5)

表 11-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
埼玉県	65,847	3.9%	915	42	35,067	3.8%	487	41	53,112	3.9%	90	48
南部	5,245	8%	694	38	3,176	9%	420	38	5,336	10%	96	50
南西部	5,154	8%	747	39	2,655	8%	385	37	4,110	8%	83	44
東部	9,874	15%	883	42	5,470	16%	489	41	6,992	13%	91	48
さいたま	8,459	13%	692	38	5,261	15%	430	38	10,076	19%	103	54
県央	4,136	6%	781	40	2,587	7%	488	41	3,733	7%	90	47
川越比企	10,579	16%	1,323	50	5,003	14%	626	46	5,032	9%	74	40
西部	10,221	16%	1,296	50	4,352	12%	552	43	4,872	9%	72	39
利根	5,889	9%	893	42	3,372	10%	511	42	5,464	10%	90	47
北部	5,413	8%	1,036	45	2,719	8%	520	42	6,118	12%	115	60
秩父	877	1%	810	40	472	1%	436	39	1,379	3%	86	45

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 11-2 病床数（人口10万当たり）、総高齢者ベッド数（75歳以上1,000人当たり）

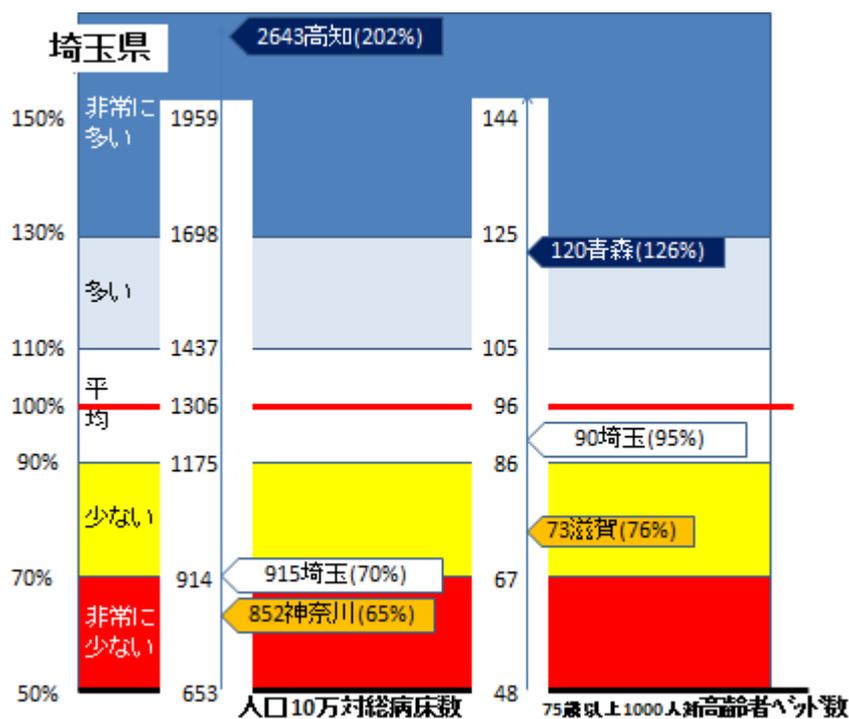


表 11-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養 病床数	県内 シェア	人口10 万当り	偏差値	回復期 病床数	県内 シェア	人口10 万当り	偏差値	精神病 床数	県内 シェア	人口10 万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
埼玉県	13,191	4.0%	183	46	2,529	4.1%	35	47	14,693	4.2%	204	47
南部	969	7%	128	44	212	8%	28	45	868	6%	115	43
南西部	1,221	9%	177	46	172	7%	25	45	1,106	8%	160	45
東部	1,723	13%	154	45	597	24%	53	51	2,084	14%	186	46
さいたま	1,587	12%	130	44	339	13%	28	45	1,242	8%	102	42
県央	640	5%	121	43	150	6%	28	45	759	5%	143	44
川越比企	2,043	15%	256	50	466	18%	58	52	3,057	21%	382	55
西部	2,902	22%	368	55	412	16%	52	51	2,555	17%	324	52
利根	779	6%	118	43	98	4%	15	42	1,390	9%	211	47
北部	1,080	8%	207	47	48	2%	9	41	1,509	10%	289	51
秩父	247	2%	228	48	35	1%	32	46	123	1%	114	42

表 11-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急 センター	県内 シェア	人口100 万当り	偏差値	がん診 療拠点 病院	県内 シェア	人口100 万当り	偏差値	総療法 士数	県内 シェア	人口10 万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
埼玉県	6	3.0%	0.8	47	11	2.9%	1.5	46	3,613	4.1%	50	45
南部	1	17%	1.3	49	2	18%	2.6	49	262	7%	35	41
南西部	0	0%	0	43	0	0%	0	42	274	8%	40	42
東部	1	17%	0.9	47	2	18%	1.8	47	633	18%	57	47
さいたま	1	17%	0.8	47	2	18%	1.6	46	410	11%	34	41
県央	0	0%	0	43	1	9%	1.9	47	266	7%	50	45
川越比企	1	17%	1.3	49	2	18%	2.5	49	585	16%	73	51
西部	1	17%	1.3	49	1	9%	1.3	45	672	19%	85	54
利根	0	0%	0	43	0	0%	0	42	256	7%	39	42
北部	1	17%	1.9	51	1	9%	1.9	47	204	6%	39	42
秩父	0	0%	0	43	0	0%	0	42	52	1%	48	45

表 11-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
埼玉県	5,831	3.7%	81	42	31,468	3.7%	437	40	70,242	3.9%	976	45
南部	560	10%	74	41	2,973	9%	393	38	7,838	11%	1,037	45
南西部	326	6%	47	36	2,206	7%	320	35	4,228	6%	613	40
東部	857	15%	77	41	4,380	14%	392	38	12,962	18%	1,159	47
さいたま	996	17%	81	42	4,855	15%	397	38	12,534	18%	1,025	45
県央	402	7%	76	41	2,341	7%	442	40	5,072	7%	958	44
川越比企	1,048	18%	131	52	4,856	15%	607	48	10,588	15%	1,324	49
西部	931	16%	118	49	4,270	14%	541	45	10,206	15%	1,294	49
利根	342	6%	52	37	2,673	8%	405	39	3,788	5%	574	40
北部	319	5%	61	38	2,501	8%	479	42	3,026	4%	579	40
秩父	50	1%	46	36	414	1%	383	38	0	0%	0	32

図 11-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

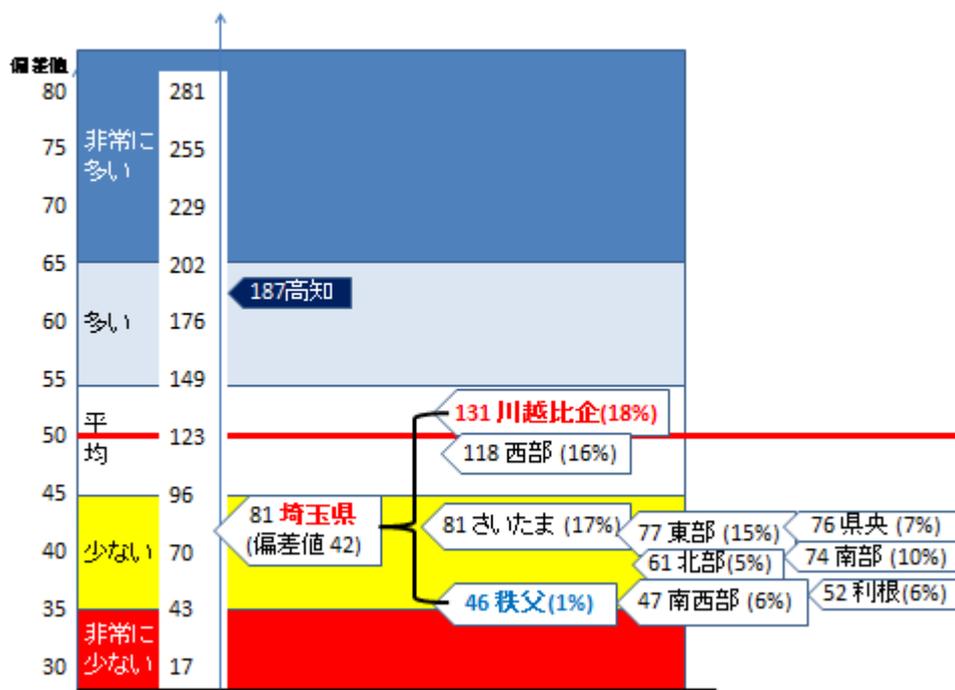


表 11-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
埼玉県	27,467	3.9%	47	47	12,557	4.1%	21	49	14,910	3.8%	25	47
南部	2,175	8%	39	41	909	7%	16	40	1,266	8%	23	45
南西部	2,253	8%	45	46	1,178	9%	24	53	1,075	7%	22	44
東部	3,376	12%	44	45	1,590	13%	21	48	1,786	12%	23	45
さいたま	4,296	16%	44	45	2,148	17%	22	50	2,148	14%	22	44
県央	2,528	9%	61	59	1,471	12%	35	74	1,057	7%	25	47
川越比企	3,278	12%	48	49	1,284	10%	19	45	1,994	13%	29	51
西部	2,795	10%	41	43	1,192	9%	18	42	1,603	11%	24	46
利根	3,181	12%	52	52	1,393	11%	23	52	1,788	12%	29	51
北部	2,715	10%	51	51	1,092	9%	21	48	1,623	11%	31	52
秩父	870	3%	54	54	300	2%	19	44	570	4%	36	57

表 11-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
埼玉県	25,645	4.0%	44	49	12,372	5.2%	21.1	54	5,689	3.6%	9.7	48
南部	3,161	12%	57	56	2,132	17%	38.4	70	704	12%	12.7	53
南西部	1,857	7%	37	46	994	8%	20.0	53	437	8%	8.8	46
東部	3,616	14%	47	51	2,119	17%	27.5	60	714	13%	9.3	47
さいたま	5,780	23%	59	58	3,977	32%	40.7	72	745	13%	7.6	44
県央	1,205	5%	29	41	329	3%	7.9	42	408	7%	9.8	48
川越比企	1,754	7%	26	39	375	3%	5.5	40	675	12%	10.0	48
西部	2,077	8%	31	42	594	5%	8.8	43	380	7%	5.6	41
利根	2,283	9%	37	46	700	6%	11.5	45	574	10%	9.4	47
北部	3,403	13%	64	60	1,043	8%	19.6	53	873	15%	16.4	59
秩父	509	2%	32	42	109	1%	6.8	41	179	3%	11.2	50

表 11-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
埼玉県		18%	-28%	-1%	-18%	112%	90%
南部	1	20%	-19%	17%	-7%	99%	81%
南西部	1	22%	-22%	10%	-11%	122%	98%
東部	1	18%	-28%	-7%	-21%	141%	108%
さいたま	1	24%	-21%	18%	-9%	109%	91%
県央	1	19%	-27%	-8%	-20%	127%	99%
川越比企	1	14%	-33%	-12%	-25%	116%	92%
西部	1	22%	-34%	-8%	-24%	139%	111%
利根	1	9%	-37%	-14%	-29%	96%	77%
北部	2	8%	-32%	-5%	-23%	72%	60%
秩父	3	-9%	-40%	-20%	-32%	23%	17%

図 11-6 埼玉県 2010年→35年介護医療需要の増減予測

